

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL: kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2026・131
10月21日～11月10日

工学部 電気工学科

2026年度 第79回

電気・情報関係学会 九州支部連合大会 「優秀ポスター賞」受賞

2026年9月17日（木）～18日（金）に大分大学で開催された「2026年度（第79回）電気・情報関係学会九州支部連合大会」の学生ポスターセッションにおいて、電気工学科3年の岡本沙誉子さんと久木崎亙心さんの2名が発表を行い、岡本さんが「優秀ポスター賞」を受賞しました。本大会は、電気・電子、情報分野に関する8学会の九州支部および関連セッションが共同で主催する学術会議です。大学院生による発表が多い中、本学生は学部3年生の2名が池田風花助教と大山和宏教授の指導のもと、研究成果を発表しました。

受賞した岡本さんの研究タイトルは「男子学生に不公平感を与えない電気系女子支援活動の検討」です。理工系分野では女性技術者の活躍を後押しする取組が進められる一方、支援の公平性も課題となっています。本研究では、より多くの学生が納得できる女子学生支援のあり方について検討しました。また、久木崎さんは「女子中高一貫校への電気工学普及を目的とした大学・中学校連携モデルの検討」をテーマに、女子中高生の電気工学への興味・関心を高めるための大学と中学校の連携について発表しました。



工学部 電気工学科

3年 岡本 沙誉子さん（北九州市立高校出身）
同学会でポスター発表を行った 3年 久木崎 亙心さん（右）

3. 男子学生に不公平感を与えない女子学生支援活動の設計

現状・課題

- ・電気工学分野の女子進学率・女性技術者比率が低い
- ・身近な女性の先輩・技術者・研究者が少ない
- ・相談・交流やロールモデルと出会う機会が限られる



女子学生支援の必要性

- ・女子学生同士が交流・相談できる機会の確保
- ・女性技術者・研究者との交流によるロールモデルとの出会い
- ・休学年から学会等に参加し、学外へ交流を広げる機会の提供
- ・「特別な利益」ではなく、不足している交流・相談機会を補う支援



男女双方が納得できる設計指針

- ① 活動目的の共有
女子学生支援は優遇ではなく、相談・交流の環境づくりを目的とすることを説明
- ② 教育・研究機会の公平性
授業・研究指導とは別の課外活動として実施
- ③ 活動内容の公開
活動内容や実施目的を男子学生にも共有し、女子学生だけが特別な利益を得る活動でないことを説明
- ④ 男子学生との対話
活動目的や女子学生の抱える状況を説明し、男子学生からの意見も取り入れ、理解や協力を得ながら活動を推進

男女双方の理解・協力

- ・活動内容・必要性を共有
- ・男子学生の意見も取り入れながら対話
- 女子学生支援への理解・協力



期待される効果

- ・電気工学分野の女子進学率・女性技術者の増加
- ・男女が互いに尊重しあい、学びあえる環境の定着
- ・社会全体での技術者のダイバーシティの実現
- ・男子学生にとっても、多様性や協働の重要性を学び、将来の技術者としての成長につなげる



指導教員の池田風花助教と

電気工学科の女子学生支援を、男女双方が学び・成長できる教育活動へ